

ライナー・ ホーネック ヴァイオリンリサイタル

*Rainer Honeck
Violin Recital*

～プログラム～

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ第34番 変ロ長調K.378
ウェーベルン：ヴァイオリンとピアノのための4つの小品Op.7
ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ 短調
R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 Op.18

ピアノ：村田千佳

2014

2/2 日 15:00 開演

栃木県総合文化センター サブホール

【入場券取扱いプレイガイド】

○栃木県総合文化センタープレイガイド

〒320-8530 宇都宮市本町1番8号(ギャラリー棟1階/10:00～19:00)

(電話予約)028-643-1013

(インターネット予約) <http://www.sobun-tochigi.jp>

○下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2階) ☎028-651-5255

○宇都宮市文化会館プレイガイド ☎028-634-6244

○FKDショッピングプラザ宇都宮3F ☎028-623-5269

○FKDショッピングモール宇都宮インターパーク店2F ☎028-657-6534

主催/公益財団法人とちぎ未来づくり財団

～青少年の健全育成と県民文化の振興を目指します～

全席指定 3,000円 10月9日(水) 10時から発売開始!!

お願い・お断り

- 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
- 開演5分前にはご着席ください。開演後にお越しいただいた場合には、ロビーでお待ちいただく場合があります。
- 会場には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。
- 都合によりプログラム等が変更となる場合があります。

【お問い合わせ】

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 栃木県総合文化センター文化振興課

〒320-8530 宇都宮市本町1番8号

TEL028-643-1010 FAX028-643-1012 E-mail tmf@tmf.or.jp

URL <http://www.sobun-tochigi.jp>



ライナー・ ホーネック ヴァイオリンリサイタル

Rainer Honeck
Violin Recital

Profile

Rainer Honeck [Violin, Conductor / Austria]

ライナー・ホーネック

1961年オーストリアのネンツィング生まれ。7歳よりヴァイオリンを始め、ウィーン音楽芸術高校に学ぶ。アルフレート・シュタールにも師事。1978年ウィーン・フィルよりカール・ベーム基金の奨学金を授与される。1981年ウィーン国立歌劇場管弦楽団／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に第一ヴァイオリン奏者として入団、1984年には同歌劇場管のコンサートマスターに、1992年にはウィーン・フィルのコンサートマスターに就任。

ブレゲンツ音楽祭、プロムスなど、オーストリア、ヨーロッパ各地、日本、アメリカなどでソリストとして活躍。マリス・ヤンソンス指揮ウィーン・フィルとドヴォルザークの協奏曲、ダニエレ・ガッティ指揮ウィーン・フィルでベルグの協奏曲を共演、リッカルド・ムーティ指揮のもとモーツァルトの協奏交響曲（ヴィオラはトバイアス・リー）をウィーンにて、また日本、アメリカ・カーネギーホールなどでのツアーも行った。読売日本交響楽団には度々客演しており、2010年4月同楽団のモーツァルトシリーズに出演、名古屋フィルとはシューベルト全交響曲シリーズを指揮。

録音では、ウィーン・フィルのコンサートマスターとして1993年小澤征爾指揮リムスキー＝コルサコフ「シェヘラザード」ライブ録音、2002年クリスティアン・ティーレマン指揮R.シュトラウス「英雄の生涯」、またドヴォルザーク／メンデルスゾーンの協奏曲をプラハにてチェコ・フィルと録音、シューベルトのヴァイオリンとピアノの全作品、モーツァルトの協奏曲2枚組などがある。

室内楽にも意欲的に取り組み、1989～1999年ウィーン・ヴィルトゥオーゼンの創立メンバー、1982～2004年ウィーン弦楽ソリス滕のリーダーとして活躍、2000年以降は、アンサンブル・ウィーン、ウィーン・ベルリン室内管弦楽団でも活発な活動を行い、多数のラジオ、テレビ出演、CDも多くリリースしている。ジェシー・ノーマン、キャスリン・パトル、アンジェリカ・キルヒシュラーガー、ホセ・カレーラス、アンドレ・プレヴィン、ユージ・バシュメットなどと長年に渡り共演を重ねている。

近年では指揮にも力を入れており、名古屋フィル、紀尾井シンフォニエッタ、読売日本交響楽団、マルメ交響楽団などに招かれている。

オーストリア国立銀行貸与の1709製ストラディヴァリウス“ex-Hämmerle”を使用。

Chika Murata [Piano]

村田千佳

我国の若手室内楽ピアニストの1人。2007年にウィーンから帰国、多くのアーティストと演奏を共にしてきた。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学卒業、同大学院修了後2003年より渡欧し、文化庁芸術家在外研究員奨学金を得てウィーン国立音楽演劇大学大学院ピアノ科、及びピアノ室内楽科（ハイドン研究所）修了。在籍中は大学内において、また学外においても推薦を受け多数演奏会に出演、2006年～2007年は同室内楽科助手を務めた。

2004年にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオラ奏者ダニエラ・イバノバとのCDがレノヴァ・クラシックスより発売された。2006年オーストリアトーマスティック・インフェルド賞受賞、2009年国際シューベルト・現代曲コンクール、国際ハイドン室内楽コンクール審査員特別賞受賞。日本をはじめ、オーストリア、ドイツ、イタリア、スイス、セルビアなどで積極的なコンサート活動をし、2003年～2007年のベルリンフィルハーモニーホールでの協奏曲シリーズでは5回連続登場、好評を博す。

また内外の著名な演奏家との共演においては、世界でも活躍するアーティストグループ、ライブツィヒ弦楽四重奏団や元バンベルク交響楽団首席ヴァイオリン奏者ヴァルター・フォルヒャート、チェロ奏者ラインハルト・ラツコ、ヴァイオリン奏者岡山潔、久保田巧、ヨハネス・マイスル、ライナー・ホーネックなどその信頼は篤く、帰国後もさまざまな活動を展開しながら自身のフィールドを開拓している。卓越した芸術性と、豊かな発想力で様々なことに挑戦する姿勢が非常に高く評価されている。平成22年度大桑文化奨励賞受賞。平成23年度和歌山市文化奨励賞受賞。現在東京藝術大学、聖徳大学音楽学部にて後進の指導にも携わる。

ブログ<http://cccm.sblo.jp/>

